

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	KID ACADEMY PURE 篠原校		
○保護者評価実施期間	令和7年11月14日		～ 令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 24	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年11月14日		～ 令和7年11月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複数の活動室や庭を有する施設環境を活かし、お子様の状況に応じた「空間の構造化」を実践しています。	下校時刻の差による活動内容の違いに対しても、部屋を分けることで動線を分離し、個々が落ち着いて課題や療育に取り組める静穏な環境を確保しております。	今後は、室内の整理整頓をさらに徹底し、視覚的な刺激を適切に制御することで、お子様がより高い集中力を維持できる療育環境の構築に努めてまいります。
2	知識および経験が豊富なスタッフが多数在籍しており、それぞれの専門性や得意分野を活かした質の高い療育を提供しています。	プログラムごとに担当制を導入し、準備から進行まで一貫して責任を持つ体制を敷くことで、スタッフの意欲向上と支援内容の充実を図っております。	今後は、学び合いの機会を増やし、多角的な視点から幅広い支援を展開できる「多機能な支援者」の育成に注力します。
3	ICTツール(LINE・HUG)を効果的に活用し、保護者様との迅速かつ密接な情報共有体制を構築しています。	日々の活動報告では、文章に加えて写真を活用することで療育内容の可視化を図り、ご家庭での安心感醸成と共通理解の促進に努めております。	デジタルツールを導入していないご家庭に対しても、職員間の情報共有を徹底することで伝達漏れを防ぎ、すべてのご家庭に対して公平かつ確実な連携を維持できる体制を強化してまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の老朽化やバリアフリーへの対応が課題となっています。	賃貸物件という制約下ではありますが、優先順位を明確にした上で計画的な修繕を行い、床材の変更による衛生環境の向上などを順次実施しております。防災面、特に津波避難に関しては、近隣の避難ビルを指定し、定期的な訓練を通じて避難経路の習熟を図っております。	送迎中の発災を想定したマニュアルの整備とシミュレーションを重ね、お子様と職員の防災意識の高揚に努めています。今後は、受け入れ児童の特性変化に応じ、スロープや手すりの設置といった環境整備を機動的に検討し、安全かつ快適な空間づくりを推進してまいります。
2	段差が多くバリアフリーではない点や、トイレがやや狭い点が課題となっています。	身体面での配慮が必要なお子さまへの対応や、トイレトレーニングの支援については、環境面から十分に対応が難しい場合があります。	床がフローリングになったことで、衛生面での改善はこなうことができた。現在利用児には、スロープや手すりなど必要とする子がいないが、今後受け入れ状況によって検討していきたい。
3			